

浜松歯科衛生士 専門学校 ☆☆☆ 学校だより

10月になり学校は後期が始まりました。
2年生は10月7日に戴帽式を行いました。臨床現場ではもうキャップを付けていることはほとんどありませんが、臨床に出る前の大きな節目としての式典になります。学生は臨床実習への決意を胸に11月8日から学外実習へかけていきます。

逆に3年生は長きにわたる臨床実習で一人ひとりが成長して戻ってきました。今年度の修学旅行は日帰りになりましたが、久しぶりに皆で郊外に出て楽しい時間を過ごせました。座禅体験は、勉強に集中するための良い経験となりました。



戴帽式 2年 今野 楓香

10月7日、38期生の戴帽式は、感染対策に配慮して行われました。私たちの一生の記憶に残るような厳粛な戴帽式でした。

一人ずつろうそくに火を灯していき、全員が揃ったところで私は「誓いの言葉」を述べ、私の言葉の後にみんなが後からついてきてくれたので、落ち着いて自分の役割を果たすことができました。終わってほっとしたと同時にこのクラスの人々と一緒に臨床実習を頑張っていきたいと強く思うようになりました。これからの臨床実習では今までに経験したことのないような命を感じる場面や、対応の難しい局面に出会うこともあると思いますが、目の前の患者さんを第一に考え行動できるようにになりたいです。

実際のところ、学内実習では友達の口腔しか見てきませんでしたが、これからは一般の患者さんに関わらせていただくので、とても不安な気持ちになります。だからと言って一歩引いたところから見るだけではなく、学ぶ意識を忘れず積極的に見学や行動をして、自分の知識や技術とし、身につけていきたいです。



修学旅行 3年 増田 日南

奥山方広寺での坐禅と三ヶ日みかん狩りを体験して来ました。最初に坐禅の意味を教えてください、坐禅は、身(姿勢)、息(呼吸)、心を調えるのが基本であり、そうすることで今やるべき事に集中できると仰っていました。臨床実習、課題研究が終わり、国試へ気持ちを切り替えて行かなければならない私たちにとって、坐禅はとても良い経験になりました。昼食には精進料理をいただき、日本の伝統的な食文化に触れることが出来ました。

三ヶ日みかん狩りでは、美味しいみかんの見分け方を教わり、浜名湖を眺めながら、採れたてのみかんを満喫することが出来ました。

昨年はコロナの影響により、研修旅行や運動会などの行事がほとんど行えなかったため、最後にクラスの人々と思い出をつくる事が出来て良かったです。そして、これからはクラス一丸となり、国家試験全員合格を目標に、今やるべき事である、国試の勉強へ真摯に取り組んでいき、全員笑顔で卒業したいと思います。

